

令和8年度 教 育 計 画 内子町立小田小学校						学校番号 061	
校長名	上野 貴也	学級数	5 (2)	児童数	19	教職員数	9

教育目標

キーワード

ふるさとに誇りを持ち、
自ら学び、自ら考える児童を育てる

自分大好き 友達大好き 学校大好き ふるさと大好き

笑顔で前向きにうごく小田っ子

考える子

問い考え 深め 広げる

やさしい子

認め合い 感謝し 自分も人も大切にする

きたえる子

たくましく ねばり強く チャレンジする

ぬくもりのある学校

「ふるさと小田」のよさを生かした特色ある学校
「生きる力」を育み、子供一人一人が輝く学校
心の教育の充実を図り、人権が尊重される学校
安全・安心で信頼される学校

ふるさと教育
英語教育

魅力ある教師

人間性豊かで子供を愛する
研修に励み指導力を向上させる
信頼と期待に応える

ふるさと小田に学び
地域に生きる児童を育てる
小中一貫教育の推進

〔連携・協働〕
・小田幼稚園
・内子高等学校
小田分校

小田小・中学校運営協議会

情報の交換・共有
学校・地域の課題解決
地域貢献 人的交流

学校

○地域に根ざした学校教育の場
○子供が生き生きと学ぶ場
○地域人材活用の場

地域人材による学校支援
働き方改革への理解促進
マネジメント 学校評価

家庭

○心と体の安らぎの場
○家族との絆を深める場
○基本的な生活習慣を育成する場

地域

○生涯にわたる温もりの場
○自然・歴史・文化の発見の場
○豊かな体験と交流の場

重点目標	1 個に応じたきめ細かな指導を充実させ、一人一人の個性や可能性を伸ばすよう教育活動を推進する。 (1) 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善に努める。 (2) 児童一人一人の学びの姿を見取り、個に応じた指導の工夫に生かす。 (3) 家庭と連携し、読書活動・家庭学習の習慣化を図る。 (4) 各教科においてICT機器を積極的に活用する。 2 自他の命を大切にする心や他人を思いやる心を育み、豊かな心と健やかな体を育てる教育を推進する。 (1) いじめ・不登校については最重要課題とし、全教職員の共通理解に立った指導体制を確立して組織的に対応し、未然防止と早期発見・解消に努める。 (4) 教師と児童・保護者との信頼関係を確立するとともに、好ましい人間関係や規範意識を育成し、積極的な生徒指導を推進する。 (5) 学校の教育活動全体を通じて道徳教育を推進する。 (6) 自他の生命を尊重し、互いに認め合いながら、戒め合い、支え合う仲間意識を育て、いじめを防止するとともに、差別を許さない集団づくりに努める。 3 学校、家庭、地域が連携・協働して「ふるさと小田」の自然や文化を誇りに思う児童の育成に努める。 (1) ふるさと小田に学び、地域への深い理解とふるさとへの誇りと深い愛着を持つ児童の育成に努める。 (2) 小田小・中学校運営協議会と連携し、地域資源、人材を積極的に活用し、地域との関わりを大切にしながら教育実践を充実させることにより、自己肯定感を高めるとともに情操豊かな心を育てる。
管理運営	1 人的管理 (1) 教職員の信頼関係を基盤とした、個性が生かされる活力ある職場づくりに努める。 (2) 服務や規律を厳正にし、倫理観を高め、信用保持の徹底に努める。 (3) 交通安全推進協議会を活性化し、交通法規の遵守、交通違反と交通事故の根絶に努める。 (4) 校内働き方改革推進委員会と学校運営協議会とが連携し、業務改善への意識改革と残業時間削減に努め、教職員の負担軽減・心身の健康管理に努める。 2 物的管理 (1) 危機管理体制の整備と、防犯意識の高揚及び安全管理に努める。 (2) 施設、設備、備品等の安全点検を定期的実施し、事故防止に努める。 (3) 校舎内外の環境を整備し、豊かな心を育てるための環境美化に努める。 3 事務管理 (1) 校務分掌の明確化と、協力・協働体制による遂行・確認に努める。 (2) 共同学校事務室と連携し、迅速で正確な事務処理に努める。 (3) 会計事務の厳正な運用、個人情報適切な保管・管理に万全を期する。
本校教育の特色	本校では、小田小・中学校運営協議会を組織し、保護者や地域と連携した学校運営を行うことで、地域の特色や教育資源を生かした「ふるさと教育」を推進している。 また、幼稚園・小学校・中学校が隣接している利点を生かし、幼小中の連携による系統的・継続的な教育を進めている。特に中学校とは、「ふるさと小田のよさを生かした特色ある学校づくり」を共通の基本方針とし、連携を深めている。「ふるさと教育」では、地域の人材や自然、文化等を活用した学習を行い、児童の郷土への理解と誇りを育てている。また、「英語教育」では、中学校英語科教諭と連携した授業を通して、円滑な接続とコミュニケーション能力の基礎の育成を図っている。